

盛岡南高2年生がボランティア 草取りで桜の苗木を守ろう

6月18日、盛岡南高校（岩澤健二校長）の2年生240人が、町内でボランティア活動を行いました。これは、沿岸被災地を忘れず、自分たちにできることで支援しようと、平成24年度から行っているものです。今回は、桜の植樹を行っている家族旅行村裏山での草取り作業。本町出身の福浦真奈さん（盛岡南高2年）は、「外の視点で山田の復興を支援できたのはとても有意義。ぜひ桜の植樹にも参加したい」と、真剣なまなざしで話していました。



（右写真）ひとと作業終え、山を管理する藤原 長一さんと記念の一枚。前列右から2番目が福浦真奈さん。



ヒマワリの種まきイベント開催 たくさんの花で町を元気に

チームグレート小鹿による「希望の花を咲かせよう」プロジェクトが6月7日、山田中学校の敷地内広場にて行われました。これは、現役最年長プロレスラーであるグレート小鹿さん（大日本プロレス所属）が旗振り役となり、花をたくさん咲かせて町を明るくしようと、種まきイベントなどを行っているものです。当日は佐藤町長や小鹿さん、近隣住民、復興事業者など130人が参加。雲一つない青空の下、ヒマワリの種を丁寧に植えていました。



国体PR情報

開催まであと**459日**

硬式野球の招待試合を開催



来年10月に開かれる希望郷いわて国体で高校野球（軟式）の競技会場となる山田町民総合運動公園野球場で6月14日、国体PRイベントと兼ねて野球場改修記念の招待試合が行われました。招待試合では山田高校をはじめ、宮古商業高校、八戸学院光星高校、盛岡大学附属高校の硬式野球部が熱戦を繰り広げ、芝生が張り替えられたグラウンドの上で高校球児たちは白球を追いかけていました。

協賛金の募集を開始

国体の運営に皆さんの支援を

希望郷いわて国体山田町実行委員会（会長・佐藤信逸町長）では、国体を企業、団体、個人の皆さんに支えていただく「希望郷いわて国体山田町協賛金制度」を実施しています。申請方法などは次のとおりとなります。

▷ 協賛金の単位（1口） ▶ 企業・団体…10,000円 ▶ 個人…1,000円

▷ 申請方法 希望郷いわて国体山田町実行委員会事務局（町生涯学習課内）に備え付けの申請用紙に必要事項を記入し、協賛金とともに申請してください。

▷ 募集期限 平成28年9月30日

◆ 申請先・問い合わせ 希望郷いわて国体山田町実行委員会事務局（☎82-3111内線626）へどうぞ。



町のわだい

今月の題字 倉本 大輝君（山田南小6年）



AKB48グループが公演 子どもたちに笑顔を届ける

AKB48グループが5月24日、八幡地区の仮設駐車場でコンサートを行いました。これは、被災地を応援する「誰かのためにプロジェクト」によるもので、本町では5度目の公演。今回本町を訪れたのは阿部マリアさん、岩田華怜さん、込山榛香さん、佐藤七海さん、名取稚菜さん、西野未姫さん、峯岸みなみさんの7人です。コンサートでは人気曲の披露やじゃんけん大会が行われ、観客は大盛り上がり。最後に披露された「恋するフォーチュンクッキー」ではメンバーが振り付けを指導。一緒に踊った子どもたちはメンバーとの共演を楽しみました。



山田南小が鼓笛パレード 地域の方に感謝し安全願う

青空に鼓笛隊の演奏が響き渡ったのは6月3日。山田南小学校（近藤尚樹校長）の全校児童（173人）による「青少年健全育成並びに地域安全パレード」が行われました。これは青少年の健やかな育成と地域安全の啓発を目的に行われるものです。開会行事では、山田交番署長による地域安全についての講話が行われ、児童たちは熱心に耳を傾けていました。その後、校庭からスタートした鼓笛隊は長崎街道をパレード。児童らは沿道に駆けつけた多くの地域住民から掛けられる声援に演奏で応え、日頃の感謝と地域の安全への願いを伝えていました。

